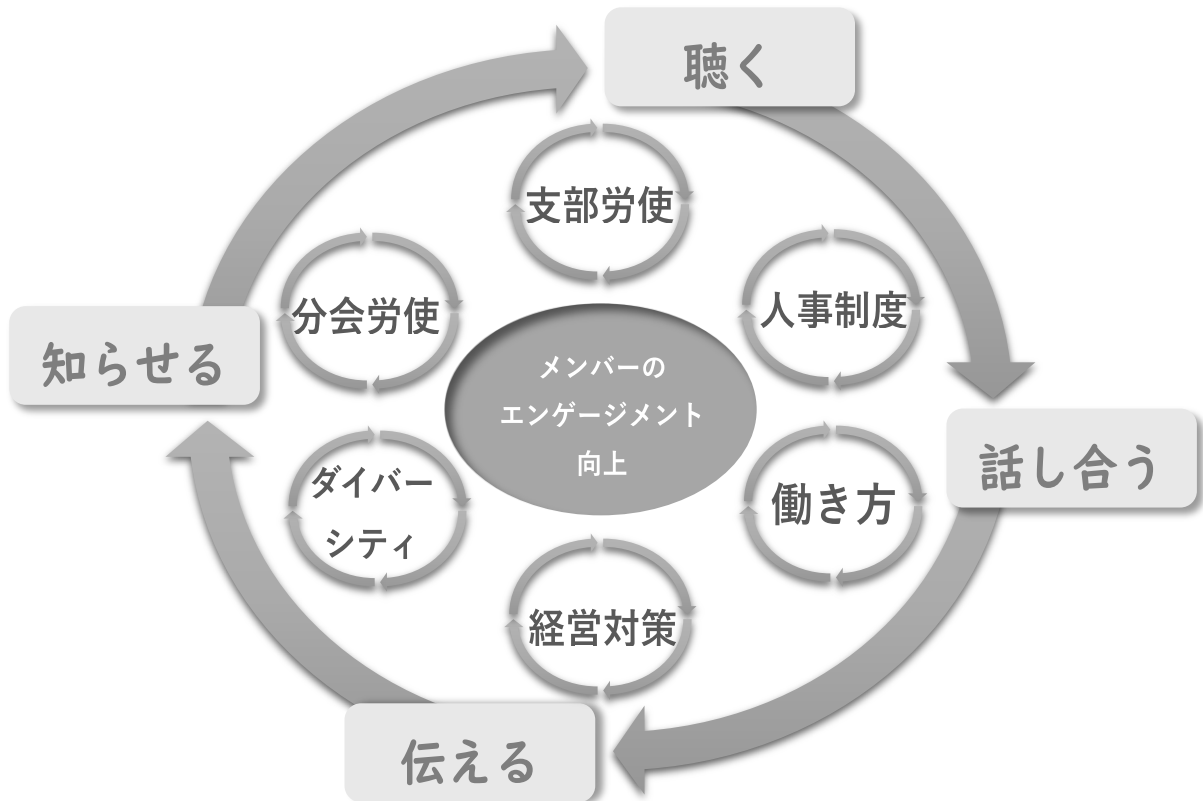


三越伊勢丹支部 第11期（2024・2025年度）運動方針

【三越伊勢丹支部 第11期テーマ】

「メンバー一人ひとりの幸せのため、個への想いを大きな力へ変えていこう」

～小さなVOICEサイクルを大きなサイクルへ、メンバーに寄り添い、それぞれの想いを自分事として捉え、納得して動ける組合活動～



【11期の重点項目】

主体的な
VOICEサイクル

- ・次に取り組むべきアクションを見据えたVOICEサイクルの実行
- ・組合役員同士の連携を持ったサイクル推進

納得性のある
人事賃金制度の構築

- ・物価上昇・業績向上・環境変化に伴う処遇の在り方を検討
- ・労働福祉ビジョンと会社の方向性を踏まえた人事制度の協議

信頼し合える
経営との対話

- ・会社の今後の方向性の正しい理解と浸透
- ・メンバーの声を基にした経営とのコミュニケーション

【 取り巻く環境 】

- ・ 24年度は「再生フェーズ」最終年、25年度からは「まち化準備フェーズ」へ
- ・ 24年度は前年の統合後過去最高益からさらなる増収増益を見込む。
- ・ 館業から個客業への転換に伴い、メンバーの働き方やマインドも大きく変わることが求められていくことが予測される。
- ・ 要員の見直し、経費コントロール等、会社の状況変化に対するメンバーの不安感は少なくなく、組合としては会社の中期計画を見据えながら安心して働くことができ、前向きなキャリアを描ける環境整備を最優先に人事制度や働き方を見直しに取り組む。

【 重点取り組み 】

VOICEサイクル

- ・ VOICEサイクルの「聴く・話し合う」の質の向上と「聴き方、話し合い方」を強化するために、メンバーの声を集める手法の見直しを行う。具体的には現場役員の声を基にしたテーマ別ボイスの設定による、メンバー接点の深化、分会の特性に合わせた実効性の高いVOICEサイクルの仕組みを構築するなど、働くメンバーを主軸に置いた活動により注力していく。
- ・ 現場の課題やその解決、その他組合活動へのメンバー理解・浸透のために、「次取るべきアクション」を見据えたVOICEサイクル活動を実行し、その事例を積み重ねていく。その結果、各職場のVOICEサイクル一つ一つが三越伊勢丹全体の組合活動として「円」で繋がり、大きな好循環の活動サイクルとなるよう昇華させていく。
- ・ 執行委員、評議員、職場委員の組合役員間のコミュニケーションをより強化する。具体的には現状の組合活動の進捗、労使協議の進捗状況や会社の方向性をタイムリーに共有し「話しあう」機会を増やしていきながら、その現場の組合役員を中心に働くメンバーへ情報発信を行うことで、メンバーにとって存在を実感でき、必要性のある組織であり続けられるように努めていく。組合策定の中期ビジョンと会社が今後目指していく方向性を踏まえ、現状の制度に留まらず幅広い視点で協議を進める。

労働福祉活動

- ・ メンバー関心度が高まっている物価上昇へのベアの対応や業績向上を踏まえた賞与の取り組みは、生活者の観点や生産性向上といった視点から継続して検討を行い、賞与制度に関しては26年度支給の業績加算賞与導入を目指し協議を進めていく。
- ・ 働き方に関して、正しい勤怠記録への意識向上に継続的に取り組むとともに、特に休日等に発生した業務の勤務記録への反映フローの整備に取り組んでいく。
- ・ 風土改革について、チームビルディングやチーム力向上のために、相互尊重や傾聴力の課題解決に向けた労使協議を進める。

経営対策活動

- ・ それぞれの分会を軸とした執行部一体となった職場懇話会への参画を促進。前期でスキーム化をおこなった支部経営懇話会⇔分会職場懇話会の連携を強化し、現場起点の課題解決の活性化・実効性向上に取り組んでいく。
- ・ 職場の業務改革やエンゲージメント調査結果を踏まえたアクションプランについてそれぞれの分会労使にてやりとりをおこない、職場の納得性向上や実効性向上に向けた取り組みを推進していく。
- ・ 会社の業績状況や中期経営計画に関する理解浸透のため、組合役員教育の実施、機関会議の分科会などを利用した対話や意見交換等を進めていき、メンバーに伝えられるようにしていく。

【 第11期前半年度（2024年度）支部活動費予算について 】

予 算	前期実績	前期比
8,920,000 円	6,898,850 円	129.2 %

- ・ リアルでの懇親の機会が増えると想定し、職場親睦会補助を含むレクリエーションは前期102%で予算化。
- ・ 広報はボイスタイムス年2回の発刊は継続するが、分会ポスターは見直しを図る。
- ・ 「聴く・話し合う」の強化のため、海外出向者訪問はマレーシア、シンガポール、オランダの現地訪問を予定（2,100千円）